

## DX 活用の方向性

若竹丸では、3つのこだわりをもって経営しています。

- ①「ねたへのこだわり」
- ②「しやりへのこだわり」
- ③「握りへのこだわり」

メニューの開発から食材の調理、販売まで自ら企画・設計し、運営。

若竹丸では、お客様の利便性と従業員の職場環境を向上させるため、DX 推進を重要課題とし、積極的な改革として取り組みを実行していきます。

## DX への取り組み

現在、社会ではデジタル化が進み、セルフオーダー・セルフキャッシング等の技術革新や IT によるデータ活用により、自動化が進展しています。

当社においても、デジタル化する社会の変化に適応して様々な環境整備を行っています。

- ・先端技術を利用し、積極的に DX へ取り組むことで、業務の効率化・自動化を進めると共に、接客・サービスに力を入れていけるよう推進してまいります。
- ・自動案内システムを採用し、発券機を使ってお客様を席に案内できるようにしております。
- ・客席にタッチパネルを設置し、セルフオーダーシステムを取り入れています。
- ・自動会計機を設置し、現金だけでなく電子決算も取り入れています。